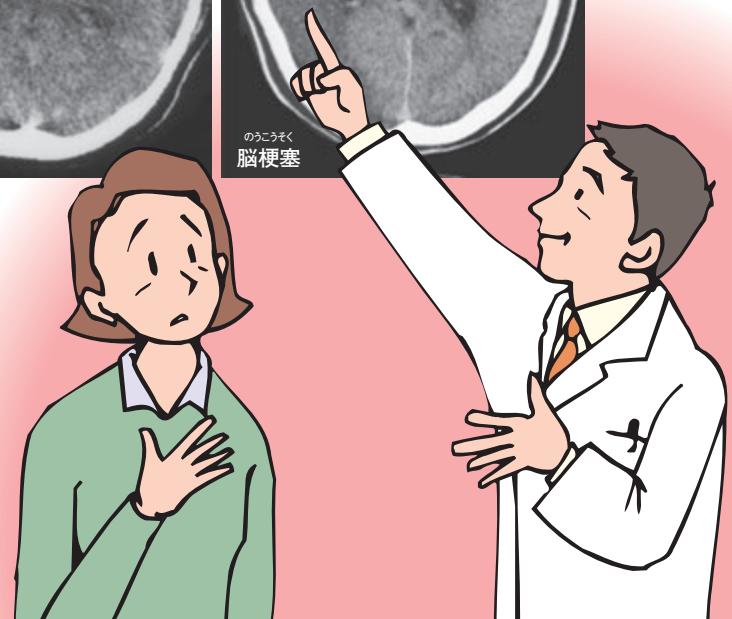
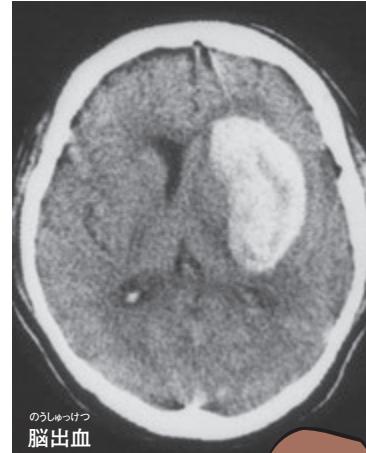


のう そつ ちゅう

脳卒中って どんな病気？



●施設名



Otsuka 大塚製薬株式会社

2012年4月作成
PUA3212D01
(4864)KK

監修：橋本 洋一郎(熊本市民病院神経内科)

脳卒中とは脳血管の異常によって起こる病気で、いくつかのタイプに分かれます。



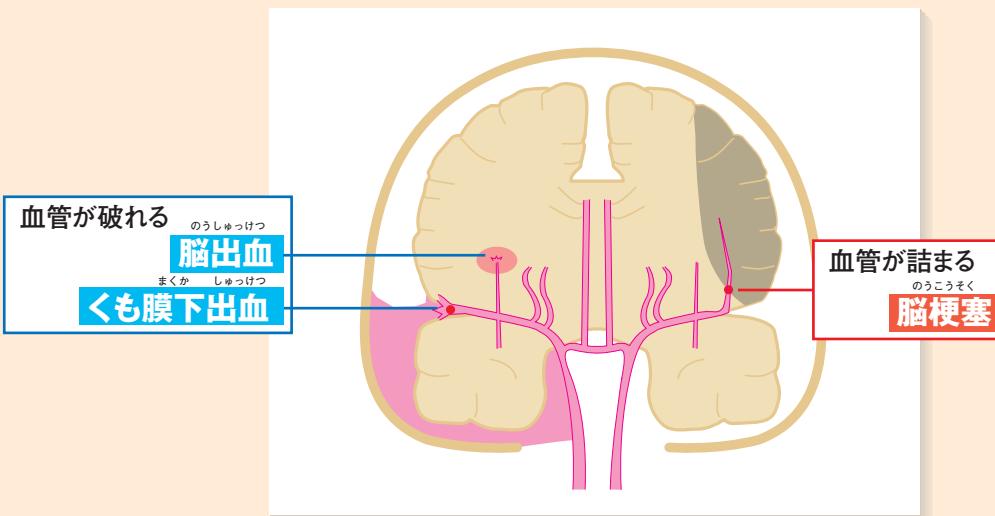
脳卒中とは、脳の血管が詰まつたり破れたりすることによって、脳が障害を受ける病気です。



脳卒中を発症すると、障害を受けた脳が司っていた身体機能や言語機能などが失われたり、場合によっては死に至ることもあります。



脳卒中には、脳の血管が詰まる「脳梗塞」、破裂する「脳出血」や「くも膜下出血」があります。



脳出血

脳の小さな血管(0.2mm以下)が高血圧や加齢のためにもろくなって破裂し、出血するものです。

くも膜下出血

脳の大きな血管にできた瘤(動脈瘤)や動静脈奇形が破裂して、脳の表面に出血が起こるものです。

脳梗塞

脳の血管の動脈硬化を来た部位に形成された血栓(血の塊)、あるいは心臓で出来た血栓により、脳血管が詰まり脳が壊死するものです。

ラクナ梗塞

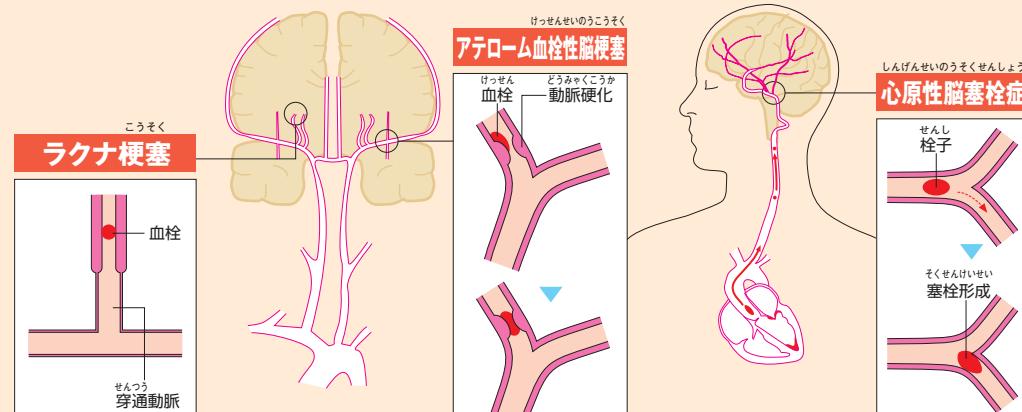
脳の細い血管(0.9mm以下)の血管壁が高血圧によって厚くなったり、壊死を起こすことで、血管の内腔が狭くなり、そこに血栓が詰まつて起こるものです。

アテローム血栓性脳梗塞

脳の太い血管の血管壁に血液中のコレステロールが溜まることで、血管の内腔が狭くなり、そこに血栓が形成されて起こるものです。

心原性脳塞栓症

心房細動などの心臓病により心臓内にできた血栓が、血流によって脳に運ばれ、脳の血管を詰まらせるものです。脳梗塞の中では一番重症で、突然発症します。



症状の現れない脳梗塞(無症候性脳梗塞)

脳梗塞が起きていても脳の障害が小さいと症状が現れない場合があります。これを無症候性脳梗塞といい、これがあると将来脳卒中の発作を起こす可能性が高いといわれています。

脳卒中の患者さんは増えています。



脳卒中は、かつて日本人の死因の1位を占めていましたが、近年死亡率は減少し、3位となっています(1位は癌、2位は心臓病)。

しかし、これは救急医療の充実や治療法の進歩により、亡くなる患者さんが少なくなったため、患者数は依然多いのが現状です。

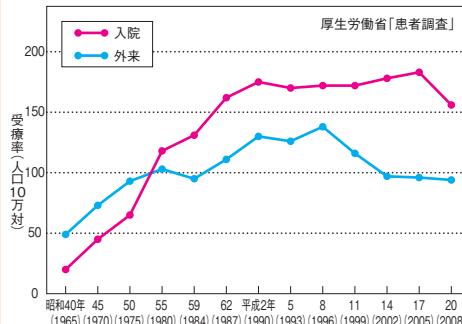


タイプ別に見ると、以前は脳出血の患者さんが多かったのですが、最近は脳梗塞の患者さんが増えています。

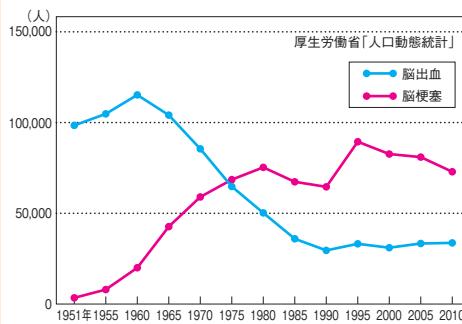


また、高齢になるほど患者さんが増加するのも脳卒中の特徴です。

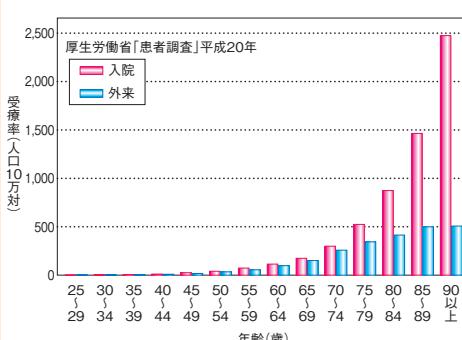
脳卒中の受療率の年次推移



脳卒中の病型別死亡者数の推移



脳卒中(脳梗塞・脳出血・くも膜下出血)の年齢別受療率



脳卒中の症状はさまざまです。



脳出血やくも膜下出血では、突然意識を失って倒れたり、片麻痺、激しい頭痛や嘔吐が起こるなど、比較的はっきりした症状が現れます。



脳梗塞では以下のようない状態が現れます。脳出血やくも膜下出血と比べ、特徴的な症状が現れず、見落とされがちなので、注意が必要です。



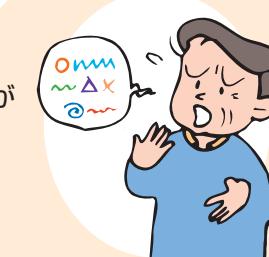
- 手足に力が入らない
- 足がもつれる



- 手足がしびれる



- ものが二重に見える。
あるいは見えにくい



- 言葉が出ない。
あるいは話せないなど



脳卒中の5つの症状

急に顔の半分、片方の手足がしびれる、動かない

突然意識がおかしくなる、言葉が出ない、周囲の人の話すことが理解できない

急に片方あるいは両方の目が見えにくくなる、視野が狭くなる

突然のふらつき、力はあるのにバランスがとれず歩けない、手足がうまく動かせない

原因不明の突然の激しい頭痛

予防は危険因子のコントロールから

のうそくじゅう
脳卒中予防十か条(日本脳卒中協会)

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8
- 9
- 10
- 番外

手始めに 高血圧から 治しましょう

糖尿病 放っておいたら 悔い残る

ふせいみゅく
不整脈 見つかり次第 すぐ受診

予防には タバコを止める 意志を持て

アルコール 控えめは薬 過ぎれば毒

高すぎる コレステロールも 見逃すな

お食事の 塩分・脂肪 控えめに

体力に 合った運動 続けよう

万病の 引き金になる 太りすぎ

のうそくじゅう
脳卒中 起きたらすぐに 病院へ

お薬は 勝手にやめずに 相談を



●日常生活による歩数の目標値(健康日本21)

成 人: 男性9,200歩、女性8,300歩

高齢者: 男性6,700歩、女性5,900歩



●塩分摂取 男性9g未満/日、女性7.5g未満/日

高血圧6g未満/日

●野菜(1日350g以上)、果物、魚の摂取



●飲酒: 清酒で1合程度まで



●禁煙

発作の前ぶれを見逃さないで



手足に力が入らない、手足がしびれる、ものが二重に見える、食べ物や飲み物が飲み込めない、言葉が出ないなど、**脳梗塞の症状**が現れた後、通常5~15分程度、遅くとも24時間以内に症状が消えてしまうことがあります。



これは「**一過性脳虚血発作(TIA)**」と呼ばれ、小さな血栓が脳血管に一時的に詰まりますが、血栓がすぐに溶けることで症状が消えるものです。

「**一過性脳虚血発作**」は**大きな脳梗塞発作の前ぶれ(警告)**とも考えられており、3ヵ月以内に10~20%が脳梗塞を発症し、その半数が48時間以内に発症するといわれています。

ですから、以上のような症状が起こったら、必ず、そしてなるべく早く医療機関を受診することが大切です。

注意!

高齢者・家族歴のある人は特に注意が必要です!

のうそくじゅう
脳卒中の患者さんは、高齢になるほど増える傾向があります。これは、**脳卒中の主な原因である動脈硬化**や**心臓病**が加齢とともに進行するからです。

また、近親者に**脳卒中の経験**がある人がいる場合は、

そうでない人より**脳卒中**を起こす確率が高いともいわれています。

ですから、高齢者や家族歴のある方は、特に予防を心がけ、

また前ぶれ症状に注意しましょう。

